

二案内

光円寺 パソコン教室 毎月・第三火曜日

五月十八日(火) 午前十時〜 参加費 五百円(パソコン持込)
持込以外 千円 やりたいことから始めています。

光円寺 女性会 (正信偈の書写)

五月十九日(火) 午前十時〜「正信偈」のお勤めと書写・感話
(正信偈の書写本はお寺で準備しています。お気軽にどうぞ！)

光円寺 第十五回 選択本願念仏集を読む会

五月二十三日(日) 午後七時半〜 講師：玉光真人さん
第三章の「本願章」に入ります。「弥陀如来、余行をもつて往生の本願としたまはず。ただ念仏をもつて往生の本願としたまへるの文」

光円寺 同朋会 「仏説阿弥陀經に学ぶ」

五月二十八日(金) 午後二時〜四時 お経「仏説阿弥陀經」
お話・座談 お経の練習もしています。初めての方も是非！

光円寺 山の家 新月・満月の会

新月：六月十一日(金) 満月：五月二十八(金) 要連絡

光円寺 春季・永代経会

六月十三日(日) お斎・十一時半 お勤め法話―一時
お勤め法話―七時半 お話 長田浩昭さん

七組女性会 於光明寺

五月二十一日(金) 十三時半〜 お話と歌 村上修さん

山陽教区第四十四回親鸞聖人讃仰講演会

五月二十二日(土) 十三時半より 姫路船場御坊
講師 中村董さん 「出会い そして別離いのち」

編集後記

先月は二週続けて二泊三日で本山・東本願寺に「O」講座を受講されている門徒の人たちと一緒に研修をしてきました。受講された皆さんは、日常を離れた三日間の生活で様々な事を感じられたようです。「よかつた〜わく」「しんどかつたわく」「たいへんやつたわく」「ぼつぼつや

ったな〜あ」……と。でも、最後に「親鸞さんの前で」の宣誓！それぞれに、いっぱい持つて帰っていただきました。私は、自分でもビックリすることが有りました。二週とも食事に「サバ」が出たのですが、私は魚は殆んど言っていないほど食べられませんでしたし、食べませんでした。今回、二回出た「サバ」最初は味噌煮・後は普通に焼いたものを、何故かしら食べてみようと思議に手が出たのです。そして、遂に生まれて初めて「サバ」を食べたのでした。今まで排除していたものを受け入れたそんな感覚が起こりました。許容量のアップです！今、思うと、許容する事、食べる事によって、世界が変わる。自分が変わる。魚を頂く。自分が囚われていた変な呪縛から解き放たれ、食べれるなら食べたいいいやんか！……と。思っています。そんな「新しい自分」であうような変化を頂いた、今回の上山研修でした。

(明)

O講座の長田先生が、生まれ故郷の能登で二十代の頃から向き合ってきた「原筈」のお話をきいた。私たちの最も身近で最も封印されてしまった問題だと感じた。ちょうど戦時中の新聞に悲惨な事実が知らされていなくなったのと同じかも。「つつましく暮らしていること自体が自然破壊で、その上だれかを犠牲にしていることを認識することがスタートなんだな。つつましく暮らせば良いんだと思っていた」。O講座でのお話に通ずる転換を感じさせていただいた。

先月悩んでいた猫の毛玉がすっかりとれたんです！大好きなカツオご飯を食べさせている間に、フェルト毛玉の表面を少しずつ切って薄くして行ったら一カ月後にはさっぱりしました。過激な事をしなくても、皮膚にくっついたあの鎧をとることができました。毛の長い猫は時々毛をとかして手入れしなければならぬですね。それで思ったんです。浄土真宗で大事にされる聞法(もんぼう)とは私たちの人生の手入れなんだって。障りでいっぱい私たちには、聞法という手入れがかかせない。法はその障りを縁として、時間をかけて私たちに寄り添いながら、導いてくれるのです。なむあみだぶつ

先日友人が自分の母に寺報を送ってくれと切手をくれました。耕縁自豊の西畑さんがいつも、自然にじんわり効いて来る「こころの漢方」と表現してくれる光円寺報、離れて暮らすどなたかに送りますか。(惟)